

鹿島区防災マップ

計画規模・土砂災害

大雨時にとるべき行動

情報の種類と行動の目安

小浜市では住民の皆様が避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。
災害時に支援が必要な方が近くにおられる場合は、お互いに助け合って避難しましょう。

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	防災気象情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 小浜市が発令	警戒レベル相当情報(例) (国土交通省、気象庁、都道府県が発令) 警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令 小浜市が発令	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発令	
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令	

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3や警戒レベル4で、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

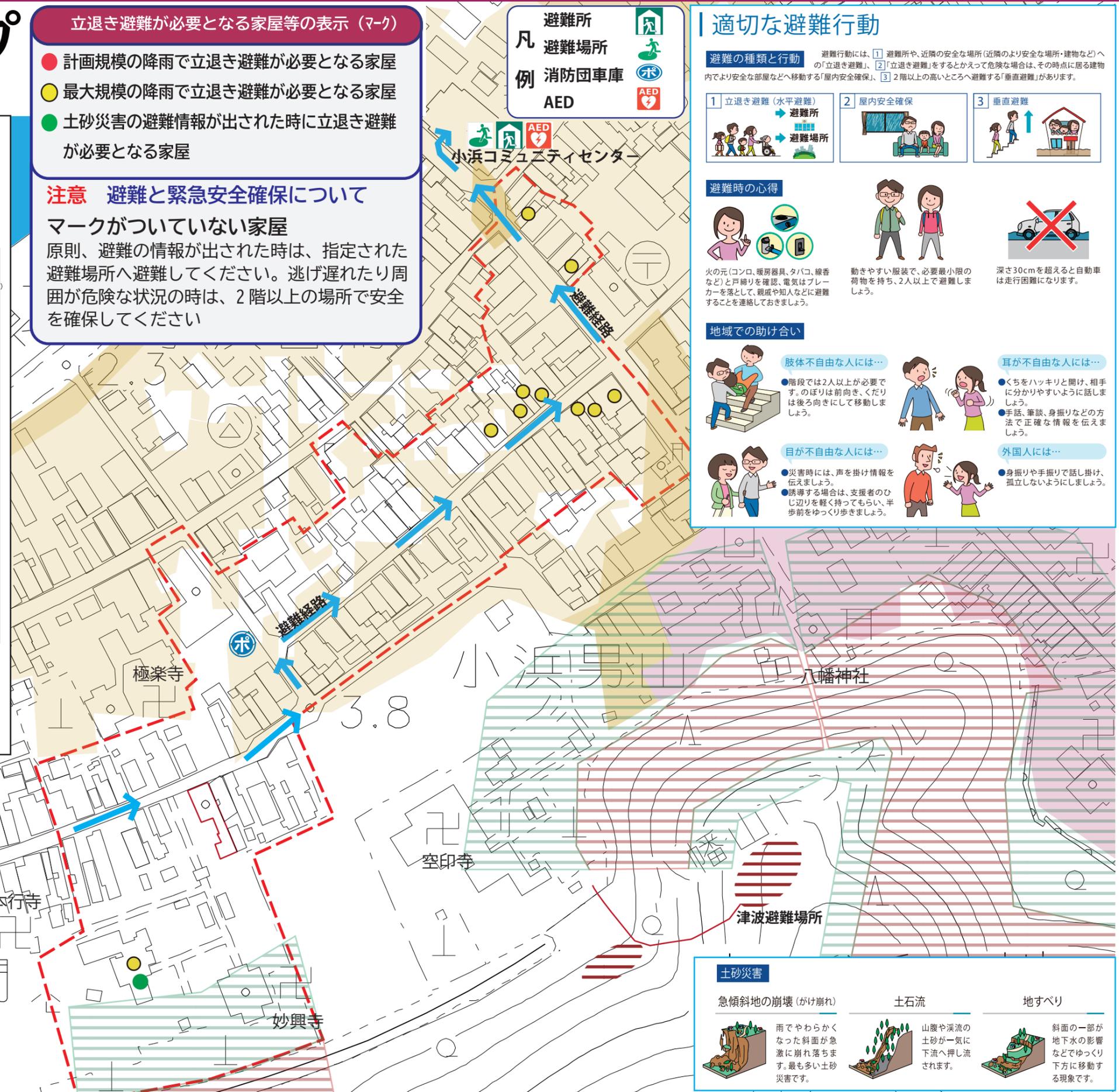
立退き避難が必要となる家屋等の表示 (マーク)

- 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 土砂災害の避難情報が出された時に立退き避難が必要となる家屋

注意 避難と緊急安全確保について

マークがついていない家屋
原則、避難の情報が発表された時は、指定された避難場所へ避難してください。逃げ遅れたり周囲が危険な状況の時は、2階以上の場所で安全を確保してください

- 避難所
凡 避難場所
例 消防団車庫
AED



適切な避難行動

避難の種類と行動
避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所(近隣のより安全な場所・建物など)への「立退き避難」、②「立退き避難」をすたかえて危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。



避難時の心得

- 火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香など)と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
- 深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

地域での助け合い

- 肢体不自由な人には...**
 - 階段では2人以上が必要で、のぼりは前向き、くだりは後ろ向きにして移動しましょう。
- 目ที่ไม่自由な人には...**
 - 災害時には、声を掛け情報を伝えましょう。
 - 誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。
- 耳が不自由な人には...**
 - くちをはッキリと開け、相手に分かりやすいように話しましょう。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。
- 外国人には...**
 - 身振りや手振りで話し掛け、孤立しないようにしましょう。

土砂災害

- 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)**
雨でやわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。最も多い土砂災害です。
- 土石流**
山腹や溪流の土砂が一気に下流へ押し流されます。
- 地すべり**
斜面の一部が地下水の影響などでゆっくり下方に移動する現象です。